

# 第99回二科展富山展

会期：平成26年9月20日（土）～28日（日）

会場：富山市民プラザ

富山県では、平成27年3月に北陸新幹線が開通します。富山市は新幹線の駅舎工事など開通に向けての準備が進んでいます。会場の富山市民プラザは富山城址公園も近く、市の中心部にある複合施設です。

開会式は9月20日（土）に、富山県、富山市、美術関係者等の来賓をお迎えして行われました。主催者の富山テレビ放送武蔵社長、二科会田中理事長の挨拶があり、その後のテープカットで開会しました。多くの来賓の方々に、田中理事長のユーモアを交えた解説で和やかなオープニングとなりました。

9日間の会期を通じて美術愛好家のグループ、若いカップル、中学生100名の団体鑑賞など幅広い世代の皆さん方に二科を観ていただきました。

絵画部ではスペースの関係で地元出品者も含め、104点の展示となりました。しかし、高い天井のギャラリーに大作が映え、見応えのある会場となりました。二科の多様な作風や表現方法が来場者の目を引きました。作品や作者について質問される方や、何度も作品の前に立ち止まり、見入る方など、二科の魅力を堪能していただきました。

彫刻作品は、デザイン作品と同室での展示となり展示効果を心配しましたが、巡回展作品9点は、小品ながら存在感のある展示となりました。特に今年は地元富山から何十年ぶりに入選・新人奨励賞受賞者がでて、皆さんの関心も高く、温もりのある作品は注目を集めました。

写真部では、富山を中心に信越・北陸地区の作家作品、全国の厳しい審査の中から選ばれた入賞作品、主な会員・会友の作品等を合わせて173点の展示となりました。連日、熱心な写真愛好家の方々に足を運んで頂き、皆さん方の1点1点丁寧に鑑賞される姿が印象的でした。

デザイン部では、巡回展作品と地元出品者も含め87点を選抜、展示しました。今回は、アイドルグループ乃木坂46若月佑美さんの作品も展示され、会期中大いに華を添え盛り上げてくれました。さらに、今回のC部門（テーマ部門）は「子供の権利条約」生誕25周年「ユニセフの活動」をテーマとしています。そこで、会場内に募金箱を設置し、賛同いただいた多くの皆様にご協力をいただきました。

（文責 絵画部会員 柳田邦男）

